

水は命・河童は心

かっぱ新聞

発行所
河童連邦共和国
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-28-7-903
電話 03(3828)3054
郵便番号00160-8-12901
©河童連邦共和国2005年

「第27回・河童サミット全国

交流会in静岡」に集まろう

〈つなごう伝統つくろう河童文化〉

事務局長 田辺 宏守



例年「河童の日」に行われた河童連邦共和国の河童サミットは、今年から構成が変わりました。年次総会と全国交流会の二つに分れ、年次総会はずでに6月8日(日)の「河童の日」に東京で開催されました。第27回「河童サミット全国交流会」

は11月16日(日)静岡県焼津市で表も新たに始まりますが、内容は交流懇親会が主体となります。さらに、開催地周辺の富士山を中心とした観光もベストシーズンであり大いに期待したいと思えます。

近頃、大人気の富士山(標高3776m)はいつ何処から眺めても人の心を和ませてくれる素晴らしい魅力的な山容です。今年の河童サミット全国交流会の会場は富士山の絶景ポイントの一つである静岡県焼津市で

す。日本のシンボルとして親しまれる美しい景観の山も、実際に登ってみるとかなり厳しく出迎えてくれます。日本では北に行くほど寒くなります。山では高度が上がるほど気温が下がります。季節の進行は下界とは大きく異なり真夏でも富士山頂は冬の状態です。一般的に標高が1000m上ると気温が6℃前後下がります。避暑地の磐井沢や上高地標高(標高1200~1500m)が快適なのは当然で、これが4000m近い富士山頂では地表との温度差が約25℃になります。しかも風が吹くと風速1mにつき1℃冷たく感じるといわれますので、富士山頂で風速10mであればさらにマイナス10℃となり氷点下の世界に変わります。つたない山岳登山の経験が災いして、山に对峙するといつとも気になるのは、目的地の山塊の地形や用意する装備全般なのです。苦勞して山頂

にたどり着いても強風のために引き返すことはままあります。暑い夏の下界の感覚で防寒装備を忘れることはできません。また苦勞して登頂しても天候次第で必ずご来光が迎えられるとは限りません。山岳での標高・風力・天候による温度変化は登山者が遭遇する大きな難関で行動を大きく左右します。どうも山のこととなると、ついつい登山の情景が浮かんでしまします。静岡県は富士山をはじめ箱根・伊豆半島の山塊にも捨てがたいものが沢山あります。山に入ったら無理をせず自然環境になじむことが信条です。さて、横道にそれましたので本題に戻ります。今回の開催地は富士箱根伊豆国立公園の核心部の駿河地方で河童の棲む環境としては四季の変化からみても非常に優れており、豊かな緑や水辺の条件も満たされています。歴史的にも国内街道の幹線

である東海道があり今日に至り繁栄を続けています。全国交流会の翌日は富士山を中心に観光バスツアーが用意されておりますのでご都合に合わせてコースが選べます。温泉・紅葉それに味覚を堪能して富士山麓の楽しいひと時をお過ごしください。それにもう一つ焼津市にはギネスブックが認定した世界一のカッパ館(北野龍雄館長・静岡かつぱ村長)ここは必見です。

河童サミット全国交流会の申込受付中です。

第27回・河童サミット全国交流会
in 静岡

〈つなごう伝統つくろう河童文化〉

開催：平成26年11月16日(日)

会場：焼津グランドホテル

シリーズ

かっぱと私 (93)

河童七福神図

港横濱カッパシテイ

中西 辰雄

私の趣味は、写真・七福神めぐり・菜園いじり等です。

写真は滝中心で、日本の滝100選の50滝余りを含め全国120以上の滝の写真を撮りました。滝を求め二・三時間山道を分け入ることもあ



いて頂きました。そのどの作品も私のお宝です。

そう、七月十九日、私の菜園で港横濱カッパシテイのメンバー11人でパーベキューを楽しみました。そんな河童の仲間も又、私の掛け替えのないお宝です。

夢に現れた河童の世界

藤山河童水辺村

出島 勝馬

先日、第27回河童連邦共和国の、総会及び交流懇親会が東京新橋の会場にて開催されました。全国から集まった河童軍団は70余名、会場には河童笑顔が弾けて居りました。案内状には新橋のアルテリーベ東京が会場と有りました。

後で解ったのですが、ここのお店の経営者はドイツ文化に関わり、日本の芸能界にも深く関わって居るようです。定刻の30分前に会場に到着したので、すでに満

席に近い状態で、話が弾んで居りました。1年振りにお会いしたのは、人間に化けた先輩河童仲間と有りました。

先輩達に挨拶している内に、賑やかな騒音の中に流れだしたのは、ヴァイオリンの静かなメロディです。久し振りに再会出来て、河童群の昂ぶる気持ち優しくなる様に、その旋律は会場に浸透して行きました。

私は、知らなかったのですが、奏者はプロの、ヴァイオリニストだったので。最初はカッパ仲間のお皿の影になって気付かなかったのですが、一番奥には一段高い舞台が有ったのです。

舞台での大統領の挨拶、交流懇親会開催の発声があり、いよいよ、河童族の交流が始まったのです。乾杯の飲み物の後に出された料理は、ドイツ料理、私には普段食

べられる機会がない料理です。初めてだったので、ゆっくり味わって居りました。ウーン、これはいける。何時も食べて居る好物のキユウリや魚よりも、数段美味しかったのです。

廻りでは、お互いにコップを傾けながら、賑やかに情報交換です。私は新米で、相手の顔と名前が未だ一致しないのですが、話したらその壁は何処かへ無くなって居りました。どの河童先輩も、私の兄弟、友人と同じ様に喋ってくれます。これが、河童連邦共和国の豊かな河童国民性だと再認識したのです。

舞台では、ヴァイオリンに続いて、ピアノ伴奏、ヴォーカルが続いて居りました。出演者のアーティストは、皆さんプロの方々でした。東京での総会は初めてでしたが、ミュージックを組み込ん

だ、ハイレベルの交流懇親会でありました。総会及び交流懇親会への参加は2回目ですが、今後とも進化する組織の将来が楽しみです。

今回の総会及び交流懇親会への参加で、考えて居たよりも遙かにレベルの高い組織、団体で有る事を発見出来たのです。このイベントの裏では運営委員会の方々や、地元河童村の方々の一方ならぬ苦勞、ご努力が有ったものと思われまふ。

第27回総会に続いて、交流懇親会が終った後に、親戚、知人、友人等に、この河童連邦共和国の存在や、イベント等の中身を、話やメールで知らせて居りますが、殆どの方が、河童連邦共和国の存在を知りませんでした。それでも話している、大人も、子供も、間違いなく耳を傾けて喜び楽しんでくれるのです。

特に、小学生位の児童にはメッチャ人気があります。私の地元で、毎年夏休みに有る小学生のイベントですが、体験宿泊キャンプには、1年生から6年生まで、4日間で130人参加して居ります。今年は4日に分けての河童世界の話と、河童ビデオを1時間頼まりました。

そのキャンプ地の奥には昔から伝説の、河童池と神社が有るそうです。キャンプのスケジュールの中には、河童池と神社の周りで、夜中の肝試し、昼は川での水泳、西瓜割りも有るそうです。私も、ここでの河童イベントが出来れば本望であり、彼らは将来の河童国民に成長するかも知れません。

適日、河童連邦共和国の将来の夢を見たのですが、子供、青年も巻き込んだ、イベントに差別化して居りました。オリ

ピック時には、そのイベントの東京拠点に、外国人達が、河童の世界は珍しい、楽しいと押し寄せて、観光名所に成り、河童連邦共和国の存在は世界に轟く様になって居りました。

そして、日本国と反対に、河童連邦共和国の国民は増えて、連邦国家財政も豊かになり、益々、盛大な東京イベントが開催されて居りました。夢醒めて改めて思ったのです。元気で、長生きせねばなりません。その目的に一番いいのは、全国の河童名所とイベントを巡り歩く事だな、と。

河童徳利のその後

港横濱カッパシティ

守屋 春男

五月十日に木名瀬五百子先生の民話の語りの会があり、演目にかっぱ新聞に掲載された「茅ヶ崎の河童徳利」があるのを知り、関心に行

きました。

手ぶりを交えた先生の語りは、臨場感にあふれ情景が目につかぶように楽しく聴かせて頂きました。

先生は民話を語る前に、民話の生まれた現地を訪れ背景などを調べて回るといふ。今回も河童の出た間門川や主人公・三堀五郎兵衛氏の菩提寺である輪光寺を訪れ、住職に話を聞き資料集めをされた聞き、後日、お願いして先生に話を伺い、池田鍾七氏が作成した資料のコピー等を頂くことができました。

それら資料等によると、輪光寺の過去帳から、文政七年(一八二四)一月二日に亡くなった三堀家何代目かの五郎兵衛氏が、河童を助け礼として酒の出る徳利を授かり、薩摩藩島津家の定紋入りのふくさに包まれ桐の箱に入れられ、代々伝承され大切にさ

れてきたという。

徳利を得た五郎兵衛氏から三代目の啓助氏の時、横浜石川町に移り、そこで大正十二年九月一日関東大震災で罹災。川崎市に移転するも今度は大東亜戦争で又々罹災。焼け跡から掘り出された徳利は四代目ウタ氏の主人の住む、静岡県川根本町千頭に五郎兵衛氏の墓碑(智満寺)と共に移された。数奇な



運命をたどった徳利は、昭和四十二年に茅ヶ崎の親族方に一度は戻ったが、現在は静岡千頭に行っているそうです。

輪光寺では、寺に残されていた徳利の寸法書通りのレプリカを作り、地元での民話の伝承に務めています。

民話の背景を調べる楽しみを木名瀬先生に教えられました。ありがとうございました。

河童交流会で
見てほしいもの？

河童連邦共和国

大老 古田 伸行



新しいカタチの河童交流会が近づいてきました。関係者の度重なる検討会は、きっと皆さん

が満足に値する計画を提供してくれることでしょう。世界遺産に登録され内外から多くの人を集めている富士山ですが、地元の人達が「これと決めた絶景ポイント」に皆さんを案内してくれるでしょうから今から楽しい限りです。またギネス登録のかっぱ館がより以上に充実され見応えのあるものになっていくのも大きな楽しみです。ここで見逃さないで欲しい新しい展示物があります。ブラジルのワールドカップで日本はいまの成績でしたが、河童もサッカーはこれからのスポーツと応援したのです。かつて大活躍した鹿島アントラーズの



アルシンドの走る姿が河童の化身を思わせるものがあり人気者でした。丁度潮来で河童連邦の河童サミットが開催されるにあたり、河童の普及に貢献したとして国民栄誉賞を贈ることになりました。本人も喜んでくれましたので牧野圭一先生に依頼して立派な賞状ができました。河童サミット当日、授賞に本人が来ることになったのですが、数百人の子どもやサポーターがついてくることになり会場は大混乱になると

河童サミット全国交流会に引き続いてオプションバスツアー 【紅葉の富士山麓を静岡から山梨にかけて観光する】

平成26年11月17日(月)

焼津グランドホテル～09:00発==カッパ館==富士山本宮浅間大社
==〈昼食:日級グルメの代表富士宮やきそば〉==朝霧高原==
本栖湖(西湖・精進湖車窓)==宿泊:河口湖畔の富士ビューホテル
(夕食は懇親会・朝食付)

平成26年11月18日(火)

ホテル～09:00発==山中湖==大月(日本三奇橋・猿橋)
(昼食)==東京・羽田空港～15:00～15:30頃
==静岡(西焼津)着
=観光コース・内容は当日の状況により変更となります。

参加費:30,000円(4名1室) ○バス代・宿泊代・食事代
32,000円(3名1室) (朝1回・昼2回・夕1回)共
33,000円(2名1室) ※飲み物代は別途料金です。

参加費は10名以上の1名分です。最大20名まで先着順

締切り:平成26年10月17日(金)

申 込:タビックスジャパン 飯島Tel:0117071000
ケイタイ:09018323261

警告が出て急遽こちらから持参しました。今考えると大混乱になって、また河童サミットが遅れようとも大々的に国民栄誉賞の授与式をやっていたなら、多くの子供たちが河童に興味を持ってくれたのに、宣

伝部長は一寸大局を見誤りました。牧野圭一先生はよく特徴を捉え描いてくれましたが、その賞状が今度麗ちゃんのかっぱ館に新しく展示されています。どうか行かれる方は見落とさないでください。

河童百話

(各地の伝承シリーズ)

河童大学かっぱ村 佐々木篤村長提供による、河童の民話シリーズです。民話は民衆の生活の中から生まれ、民衆によって伝承された話です。大きく分類すると昔話、伝説、世間話に分かれるようです。これからのストーリーは事実であるかもしれない、信じられないことかも知れません。

河童大学 佐々木 篤

かっぱのかめ

その21

静岡県南伊豆地方

むかしむかし、河津川のはとりに、またいたずらもののかっぱがすんでいました。ときどき、川で水あびする子どもたちの、足をひっぱったり、田をすかえたりうしんばのおしりをたたいておどろかせたり、夜道をかえるむすめさんをおどかしたり、なかなかのひょうきんものでした。

ある日、1日の仕事を終え、川岸で馬を洗っている、馬がきゆうに飛び上がりました。見ると、馬のしつばにしっかりとつかまり、ぶらぶらとゆすつてうるのは、どうやらかっぱのようではありませんか。そこで、村人達があつまり、とりかこんで捕まえたところに、おきの和尚さんがやつてきました。

「まあまあ、みんな、殺生なことはやめて、わしにめんして、かんになしてくだされ」河童を放してやりませう。

河童の片腕

静岡県駿河地方

河合村に長平という百姓が住んでいました。その長平さんの家に、今年はずっと見事なきゅうりができました。かさは大よろこび、毎日「きょうきょういかに」にお、ねきつて来ては、冬まわしに塩をたくさん入れて漬けていました。

ある朝、きゅうり畑に行く、すんなりと育ったきゅうりが一本もなく、曲がったきゅうりがかりでした。次の朝も、その次の朝も、へばきゅうりばかりでした。

「こりや、やっぱし誰かが取りに来ているんじゃないか」長平さんは、見つけて捕まえようと朝早く見回りに行く、二つくらいの子供とも見える、あか黒い獲物のものが畑にいます。長平さんは、棒をとって、なく引つけ、帯で縛って家まで引きずってきました。

村の人たちは面白がって、おおせい見物にきました。台所ではたらいにいた女が、ふざけて、手に持った水筒柄で頭を殴りつけたところ、水が怪物の頭にかかりました。すると、とつぜん元気になり、怪力を出してあはれ、強くしぼってあった左腕を抜き、川へと逃げてしまいました。

翌朝、長平さんが畑に行く、昨日の怪物が来ていて、「今日限りきゅうりを盗むな」と、わるいことばをいせませんので、

片腕を落してください」と頼んだので、返してやることにしました。

次の朝、長兵が畑に行くと、家を出ると、数匹の釣(かき)に、川魚がかけてあります。その翌日にも魚がかかっています。「ははあ、がおろ(河童)が、左腕を返しもらったお礼に持ってきたんじゃないか」無朝の川魚は、何年も続きました。

ある時、釣がすくなくなったので、もっとたくさん釣(かき)がかけられるようにと、大きな鉄製の釣に交換したところ、翌朝からは、もう川魚の贈り物はなくなりました。

(未定社版「日本の民話」より)

解説 河童の一般的なイメージである、「きゅうりが好き」と、「金物が嫌い」との二つが含まれている民話です。



ぼた餅と河童小僧

その23

長野県北佐久郡

むかし北佐久のある村で、一人の女が、明神さまの縁の下で寝ていると、お室の中で、神様達が話をしてるのを聞きま

した。名主様の家で子供が生まれるので、見に行くと言っている

るのです。しばらくすると、神様達は帰ってきて、「子供の寿命は、七つまで、十一月十一日に川流れて死ぬ」と言い合っていました。女は、名主様に、この話をしようかと迷いましたが、名主様の家では、やっとなん取りができたとおおよろこび、とても、不吉な話などできません。それから7年、女は、すっかり忘れていたのですが、ある日、明神さまの前を通りかかると、思いました。「あれ、今日は十一月十一日だ」。あわてて、名主様の家に行き、神様の話をしました。名主さまは驚き、川に釣りに行った息子を、おお驚てで探しに行こうとすると、息子が帰ってきました。息子によると、川で見知らぬ小僧に、おまをしようと言われたが、腹がすいたので、持っていたぼた餅を食べてからにしようと言い、小僧にも分けてあげたところ、小僧は「おらは河童だ。おまを川に引き込もうと思っただけだが、ぼた餅をいっぱい食べてもらったから、お前は引き込まない」と言っていて、川へ流れてしまったとのことでした。

それから、村の人は、川流れに合わないよう、十一月十一日にあずきのぼた餅を食べるようになったとのこと。

(未定社版「日本の民話」より)

解説 これに似た話で、ぼた餅が松玉に変わっている民話も、群馬県の東部地域にも伝わっています。



河童

かっぱ
カッパ

◆荏柄天神社の

河童絵筆塚祭り

平成26年10月12日(日)

午前11時30分

直接現地にお集まりくだ

さい。

初穂料 2,000円

荏柄天神社へ参加人数

を連絡しますので希望者



絵筆塚にはマンガ家から寄せられた、154枚のカッパのレリーフが飾ってあります。



は10月10日(金)までに事務局へお申し込みください。

TEL・FAX

03-3828-3054

終了後の直会(懇親会)

の会場は未定。

自由参加となります。

◆橋本川崎三太郎河童村

から二つのお知らせ

「川崎港祭り」主催

川崎商工会議所・川崎港

振興協会に今年も出展し

ます。是非お立ち寄りく

ださい。

水かけ親子河童・河童

ネットレス作りと似顔絵

大会他

〇日時

平成26年10月11日(土)



12日(日)

午前10時~午後4時

〇会場

川崎港・川崎マリエン

川崎市川崎区東扇島38-1

〇交通

JR川崎駅東口バス乗り場

から「川崎マリエン前」

下車

市バス①番より会場直

行無料バス随時運行

(乗車料も「有料」市営

バスが利用できます。

なお、引き続き次選は

川崎市中原区ゆめ区民祭

にも参加します。こちら

も是非のそいでみてくだ

さい。

〇日時

平成26年10月19日(日)

午前10時~午後3時

〇会場

川崎市中原区等々力緑地

(等々力1-1)

〇交通

JR南武線 武蔵小杉駅北

口 市営バス乗り場①

番から市民ミュージアム

行き「市営等々力グラ

ン

かっぱ山柳

コーナー

◆酒断ちて

邁進したき

河童道

◆サミットは

世界に誇る

富士・かっぱ類

(スプリング・マン)

下前「または」ところき

アリーナ前」下車5分

◆荏柄天神社の

新春初詣でのお知らせ

平成27年1月11日(日)

正午

20分前までに直接現地

にお集まりください。神

官による祈禱・折願予約

の都合上希望者は平成

26年12月26日(金)ま

でに事務局へお申し込み

ください。

TEL・FAX

03-3828-3054

終了後の直会(懇親会)

の会場は未定につき自由

参加となります。



川柳コーナーでは皆様の作品を募集中です。



かっぱ新聞の発刊間隔が長くなり、各かっぱ村から広く告知したい事項や情報の提供があっても、タイミングよく新聞発表ができない現状です。次号のかっぱ新聞は平成27年の1月1日号になります。事務局ではかっぱ新聞に掲載できない場合は電話またはFAX等で関係するかっぱ村(村長)へ伝達しますので是非ご一報ください。

河童連邦共和国の名刺(水色で河童マーク入り)の注文承ります! 百枚入りで三〇〇〇円(送料込)。原稿を添えて大統領府事務局まで!

本紙掲載記事・図等の無断転載・転写を禁じます。